

漁 況

平成 25 年 1～3 月の伊豆半島東岸定置網漁況

(1) 月別漁獲量

伊豆半島東岸大型定置網 7ヶ統（伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）における平成 25 年 1～3 月の月別漁獲量を表 1 に示しました。漁期をとおして前年を概ね下回り、平年（昭和 57～平成 24 年）を上回る漁獲量がありました。

表1 伊豆東岸定置網の月別漁獲量

月	漁獲量 (t)	前年比	平年比
1 月	589	0.7	2.7
2 月	286	0.6	1.5
3 月	486	1.0	1.4
合 計	1,360	0.8	1.8

(2) 魚種別漁獲量

伊豆半島東岸大型定置網 7ヶ統における月別の主要魚種の漁獲量と主な漁場を表 2 に示しました。

漁期をとおしてスルメイカ、サバ類、カタクチイワシなどが多く漁獲されました。スルメイカは外套背長で 22～28 cm の大きさのものが、北川、谷津漁場を中心に、サバ類は尾叉長で 26～36 cm のゴマサバ主体にマサバが混じる状態で漁期をとおして川奈、北川漁場を中心に、カタクチイワシは被鱗体長で 13～16 cm の大きさのものがそれぞれ漁獲されました。特にスルメイカでは本漁期中に平年の 9.2 倍の 553 トンが、また、カタクチイワシでは平年とほぼ同量の 340 トンとその両方で全漁獲量の 6 割を占めるほどの漁獲がありました。

しかし、例年では漁獲の主体となるマアジは 2011、2012 年に発生した群（1、2 歳魚：1 月で加齢）の資源水準の低さを反映して漁期をとおして漁獲量が少なかったことが本漁期の特徴でした。

表2 各月の上位5魚種の漁獲量と主な漁場（平成25年）

月	順位	魚種名	漁獲量(t)	前年比	平年比	主な漁場
1月	1	スルメイカ	364.3	4.8	8.8	北川、谷津
	2	サバ類	82.1	0.2	2.1	川奈、北川
	3	カタクチイワシ	81.6	0.7	1.9	伊豆山、古網
	4	サンマ	18.2	1.2	1.1	北川、川奈
	5	ブリ	12.7	0.1	3.3	谷津、川奈
2月	1	スルメイカ	165.0	1.8	9.0	北川、谷津
	2	カタクチイワシ	72.2	2.4	1.3	古網、北川
	3	サバ類	17.6	0.1	0.9	川奈、北川
	4	マイワシ	9.5	80.2	0.5	伊豆山、赤沢
	5	マアジ	8.7	2.1	0.5	川奈、谷津
3月	1	カタクチイワシ	186.4	1.7	2.4	北川、川奈
	2	ブリ	72.6	0.5	3.1	川奈、古網
	3	スルメイカ	24.0	0.8	1.1	北川、川奈
	4	マアジ	13.8	1.4	0.2	川奈、富戸
	5	サバ類	9.8	0.1	0.3	川奈、北川

(平井一行)